

学校評価考察

保護者アンケートから

- すべての項目で、肯定的な評価が多数を占めており、今年度の学校運営について一定の評価を得られましたがたく感じている。
- 評価の内容を25項目から20項目に精選したため、昨年度と正しく比較することは難しいが、関連するほとんどの項目で評価が高くなっている。感染症対策は取りながらも、たくさんの学習活動や行事が再開されてきていることが影響していることが考えられる。学校としても、とてもうれしいことである。
- 1・3・4・8・16・18の項目の評価が高いことから、保護者は、多くの子どもは学校生活を良好に過ごしており、心身ともに健全に育ってきていると感じていることが分かる。特に友達との時間を楽しみにしていることや学校行事が有意義な活動になっていることが非常に評価が高くなっており、今後も学校体制づくりや個々の児童に合わせた指導などを継続していきたい。
- 11・15の項目の評価が向上している。日々の授業やノート検定、家庭学習への啓発等が一定の評価を得られていることが分かる。しかし、6の項目が低いので、学校での学習が家庭学習の習慣化になるまでには至っていない。来年度の課題である。
- 9・12の項目は、引き続き評価が高い。きまりを守って生活することの大切さが、次第に身に付いてきていると思う。保護者の声かけや校内研究での道徳の授業づくりに取り組んだ成果が出てきていると思う。
- 5の項目は、引き続き評価が低い。読書ボランティアによる朝読書の活動も定期的の実施できるようにしたので今後児童の読書への興味関心も回復するのではないかと期待している。学校図書館での本の貸し出し数も伸びており、図書委員会による読書週間などの取り組みの成果は出ていると感じている。今後も保護者や児童に分かりやすい形での啓発活動を工夫していきたいと思う。
- 13の項目の評価がさらに向上している。学校を訪れることが少ない保護者へできるだけ学校の様子を伝えようと、昨年度から学校日より「帯江小ナウ」を発行している。貴重な情報源として楽しんでいただけていることに、ありがたく感じている。懇談も年間3回実施し、児童の具体的な頑張りを伝えられるよう心掛けている。
- 14・18の項目は評価がやや低い。15%強の方が否定的な回答となっている。素早くかつ丁寧な連絡や対応を心掛けていきたい。いじめに関わる事案では、これまで通り解決後の様子を継続して見守っていきたい。安全指導については、交通量の多い地区なので、定期的な交通安全への啓発活動を今後も続ける必要がある。